令和６年度事業報告

その人らしさを大切に

～　みんなの笑顔のために　～

社会福祉法人

山口県社会福祉事業団

目　　次

頁

Ⅰ　第四次中期経営計画の実現に向けて

◎　利用者の立場に立った**「選ばれる施設づくり」** …… 1

◎　地域から信頼される**「地域とともに歩む施設づくり」** …… 2

◎　自立的経営を目指す**「経営の基盤づくり」** …… 2

Ⅱ　各施設拠点の取組

選ばれる施設づくり

１　サービスの質の向上 …… 3
（１）医療的ケアの提供体制の確保・充実 …… 3
（２）利用者の意思決定の尊重 …… 3
（３）高い専門性を確保したサービスの提供 …… 3
（４）虐待の防止 …… 4
（５）感染症予防の徹底 …… 4
（６）事故の未然防止 …… 4

２　運営に係る透明性の確保 …… 4
（１）情報の公表 …… 4
（２）施設サービスへの理解促進 …… 4

３　各施設拠点における重点的取組 …… 5

［灘海園］ …… 5

［伊保庄園］ …… 5

［オアシスはぎ園］ …… 6

［たちばな園］ …… 6

［華南園］ …… 7

［華の浦（はなのうらを含む）］ …… 7

［このみ園］ …… 8

［山口県みほり学園］ …… 8

［山口県児童センター］ …… 9

［ゆ～あいプラザ山口県社会福祉会館］ …… 9

地域とともに歩む施設づくり

１　地域社会への貢献 …… １０
（１）公益的な取組の実施 …… １０
（２）セーフティネット機能の発揮 …… １１
（３）福祉人財の活用 …… １１

２　交流機会の確保 …… １１

Ⅲ　法人・事務局の取組

経営の基盤づくり

１　法人組織のガバナンス強化 …… １２

２　人財の確保・育成・定着 …… １２
（１）人財の確保 …… １２
ア　多様な人財の確保
イ　実習生やインターンシップの積極的な受入れ
（２）人財の育成 …… １２
ア　資格取得の促進
イ　体系的かつ専門的な研修機会の確保
（３）人財の定着 …… １３
ア　ハラスメントの防止及びメンタルヘルス対策の強化
イ　ＩＣＴ機器や福祉機器等の導入
ウ　新人職員へのサポート体制の充実
エ　「小集団活動」の推進による職場環境の改善

３　安心安全な施設環境の整備に向けた財源の確保 …… １４
（１）施設設備の整備 …… １４
（２）収益の確保 …… １４
（３）利用者の確保 …… １４
（４）施設機能の維持 …… １４

◆　各施設拠点における事業ごとの稼働率等 …… １５

Ⅰ　第四次中期経営計画の実現に向けて

国においては、令和６年度、職員の賃上げに重きを置いた介護報酬の改定を行いましたが、介護職員の不足の解消には至らず、諸物価の高騰、様々な感染症への対応など、施設経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような中、当事業団では、令和６年度から令和１０年度の５年間の経営の行動指針として策定した「第四次中期経営計画」（2024～2028）の最終目標の達成に向け、**“その人らしさを大切に～みんなの笑顔のために～”**の基本理念のもと、**「選ばれる施設づくり」「地域とともに歩む施設づくり」「経営の基盤づくり」**の基本目標に沿って、経営計画のスタートの年度となる令和６年度事業計画の着実な前進を目指して全職員で取り組んでまいりました。

しかしながら、目標としていた事業ごとの稼働率等については、多くの事業で目標値を下回る結果となりました。特に、介護施設においては、新型コロナウイルスのクラスターの発生等を原因とする多くの入院者の発生や受入の抑制、入所相談から入所までの事務手続き等の遅延などが稼働率に影響しました。一方、障害施設にあっては、感染症の影響等はあったものの稼働率は良好に推移しました。

このような状況を踏まえ、事務局及び各施設の園長で構成する経営会議（６回開催）の中で、状況報告や見通し、課題の解決に向けた取組等を議論しながら経営の改善に努めてまいりました。その結果、徐々に効果が表れ、年度末にかけては若干ながら改善傾向が見られる状況となりました。

また、指定管理施設である山口県みほり学園については、現場の意見も取り入れた「整備基本計画」が策定され、令和９年度に建築工事を開始し、令和１１年度中に供用開始を目指すことが示されました。

◎　利用者の立場に立った「選ばれる施設づくり」

選ばれる施設づくりに向けて、基本理念を念頭に置き、利用者のニーズに沿った安心・安全な福祉サービスを提供するとともに、透明性の高い法人運営を進めました。

○　サービスの質の向上

支援体制の強化に向けた研修機会の確保では、認知症に係る研修について、感染症の発生や業務等の関係からいずれの施設拠点でも受講できませんでしたが、認定特定行為業務従事者研修や強度行動障害支援者養成研修については、計画以上の受講ができました。

○　運営に係る透明性の確保

ホームページやインスタグラム、紙媒体など活用しながら積極的に情報の公表に努めました。また、交流機会の積極的な提供にあっては、新型コロナウイルスなどの影響も一部あったものの概ね以前の状況に戻りつつあります。

○　各施設拠点における重点的取組

各施設拠点とも積極的に取り組み、一部目標を達成できなかったものがあったものの、多くの項目で目標以上の成果がありました。

◎　地域から信頼される「地域とともに歩む施設づくり」

地域共生社会の実現に資するため、高い公益性をもって、積極的に地域への貢献活動に取り組みました。

○　地域社会への貢献

公益的な取組については全ての施設拠点で実施され、セーフティネット機能の発揮や地域の講習会等への職員の派遣を積極的に行い、地域社会への貢献に努めました。

○　交流機会の確保

施設や機器等の貸出、障害や児童関連施設を中心に多くのボランティア団体等の受入れ、地域活動への参加を通じて交流機会の確保に努めました。

◎　自立的経営を目指す「経営の基盤づくり」

法人組織のガバナンスの強化を進めるとともに、施設設備の充実及び人財の確保・育成・定着を着実に進めるための財源を確保し、安定的で持続的的発展を可能にするバランスの取れた経営基盤の確立に努めました。

○　法人組織のガバナンス強化

定期的に経営会議を開催し、課題の抽出と解決に向け、危機意識を醸成しながら具体的な検討を進めました。

○　人財の確保・育成・定着

人財確保に向け、関係機関への積極的な働きかけ、様々な媒体や制度の活用、職員の随時募集などにより３０人の新規職員を採用することができました。

また、育成に向けた研修を計画的に実施するとともに、定着については、ハラスメント撲滅のための取組の強化や新人職員に対する訪問面談などフォロー体制を徹底しました。

○　安心安全な施設環境の整備に向けた財源の確保

施設整備等積立金については計画を上回る積立を行ったものの、高齢者施設の稼働率の低さから収益の確保が厳しい結果となりました。

Ⅱ　各施設拠点の取組

選ばれる施設づくり

1　サービスの質の向上

（1） 医療的ケアの提供体制の確保・充実

利用者の状態に応じた医療的ケアの提供体制の確保・充実

具体的取組	認定特定行為業務従事者研修修了者の増
取組の実績	５人受講（計画：６人以上）した。（灘海園３人、伊保庄園１人、オアシスはぎ園１人）

（2） 利用者の意思決定の尊重

利用者の意思を尊重したサービスの提供

具体的取組	意思決定支援会議の開催
取組の実績	利用者本人が出席し、関係施設において計画的に開催した。

具体的取組	意思決定支援ガイドラインに沿った対応
取組の実績	職員への周知徹底、研修の開催などを通じ、関係施設において常時取り組んだ。

（3） 高い専門性を確保したサービスの提供

支援体制の強化に向けた研修機会の確保

【高齢者】

具体的取組	認知症介護実践者研修の受講
取組の実績	受講なし（計画：３人）

具体的取組	認知症介護実践リーダー研修の受講
取組の実績	受講なし（計画：２人）

具体的取組	認知症介護指導者養成研修の受講
取組の実績	受講なし（１人／５年（中期経営計画期間中））

【障害児・者】

具体的取組	強度行動障害支援者養成研修（基礎）の受講
取組の実績	７人受講（計画：５人以上）した。（たちばな園１人、華南園３人、華の浦１人、このみ園２人）

具体的取組	強度行動障害支援者養成研修（実践）の受講
取組の実績	８人受講（計画：５人以上）した。（たちばな園１人、華南園３人、このみ園４人）

（4） 虐待の防止

虐待行為及び不適切な支援の防止

具体的取組	職員への虐待防止セルフチェックを実施
取組の実績	関係施設拠点のすべてで１回以上実施した。（計画：１回）

（5） 感染症予防の徹底

日常的な感染症の予防対策の徹底及び有事に対応できる体制等の整備

具体的取組	スタンダードプリコーションの徹底
取組の実績	研修や訓練などを通じ、各施設拠点で工夫をしながら取り組んだ。

具体的取組	ＢＣＰ及び対応マニュアルに基づく体制等の整備
取組の実績	マニュアルの見直し、対策委員会の立ち上げ、研修会の開催など各施設拠点で取り組んだ。

（6） 事故の未然防止

日常的なヒヤリハット及び事故報告事例の要因分析に基づく対応

具体的取組	リスクマネジメント委員会の実施
取組の実績	各施設拠点において毎月又は定期的に開催した。

２　運営に係る透明性の確保

（1） 情報の公表

運営や施設サービスに関する情報及び評価結果等の積極的な公表

具体的取組	ホームページ等を活用した積極的な情報の発信
取組の実績	年度当初はホームページの更新頻度が少ない施設拠点も見られたが、年度後半からは積極的な更新に努めた。

（2） 施設サービスへの理解促進

交流機会の積極的な提供

具体的取組	感染症等のリスクを考慮した面会の実施
取組の実績	一部では面会制限を撤廃したものの、多くの施設拠点では、状況を見ながら徐々に緩和を進めた。

具体的取組	家族会等による交流機会の確保
取組の実績	交流会の再開などほぼすべての関係施設拠点でコロナ禍以前の状況に戻りつつある。

３　各施設拠点における重点的取組

＜高齢者施設＞

［灘海園］

・介護老人福祉施設（定員 100 人）
・短期入所生活介護（定員 20 人）
・地域密着型通所介護（定員 18 人）
・居宅介護支援

中期経営計画で目指すべき方向		医療的ケアを必要とする利用者の受入体制を整備・充実し、質の高いサービスを提供します。
取 組 事 項 ①		医療的ケア体制の確保
	目 標 項 目	認定特定行為業務従事者研修の計画受講
	取組の実績	３人受講した。（計画：２人）
取 組 事 項 ②		園内体制の再構築（委員会・マニュアル等の整備）
	目標項目	受入体制の整備
	取組の実績	看護師２人が介護職員等による喀痰吸引等（不特定多数の者対象）の指導者研修を受講し、受入体制の構築に努めた。

［伊保庄園］

・介護老人福祉施設（定員 100 人）
・短期入所生活介護（定員 14 人）

中期経営計画で目指すべき方向		医療的ケア体制を充実し、質の高いサービスを提供します。
取 組 事 項 ①		医療的ケア体制の確保・充実
	目 標 項 目	認定特定行為業務従事者研修の計画受講
	取組の実績	１人受講した。（計画：１人）
取 組 事 項 ②		フォローアップ研修等の実施
	目 標 項 目	内部研修の充実
	取組の実績	研修を２回実施した。（計画：２回）

[オアシスはぎ園]

・介護老人福祉施設（定員 100 人）
・短期入所生活介護（定員 16 人）
・通所介護（定員 30 人）
・グループホーム（定員 18 人）　・居宅介護支援、在宅介護支援

中期経営計画で目指すべき方向		外出支援を通して、利用者・職員・家族・地域の人の笑顔を引き出します。
取組事項①		外出支援の充実 ・家族参加も含めた個別のニーズに応じた外出支援 ・グループのニーズに応じた外出支援（利用者・職員等）
	目標項目	個別外出及びグループ外出支援の充実
	取組の実績	特養３３回・GH２３回と目標を大きく上回ることができた。（計画：17 回）
取組事項②		ホームページ及び広報紙を活用した活動内容の情報発信
	目標項目	活動情報の発信
	取組の実績	ホームページは毎月更新したが、広報誌は3回となった。（計画：４回）

＜障害者・児施設＞

[たちばな園]

・施設入所支援（定員 50 人）
・生活介護（定員 50 人）
・短期入所（空床型）　　・特定相談支援、障害児相談支援、一般相談支援

中期経営計画で目指すべき方向		利用者の高齢化及び障害の多様化に対応できる専門性の高いサービス提供体制を充実します。
取組事項①		強度行動障害等のある利用者への適切な支援方法の獲得及び実践
	目標項目	強度行動障害支援者養成研修の計画受講 先進的施設見学及び実習
	取組の実績	強行研修、基礎１名（２名の計画）、実践１名受講した。、先進施設（ひかり苑）に２名見学を実施したが設備面の違いから、参考にとどめ同様の取組はできなかった。
取組事項②		利用者の重度高齢化等に応じたハード及びソフト面の充実
	目標項目	日中活動の見直し 介護機器等の導入・整備
	取組の実績	下肢筋力維持のため、２週に１回中庭等で散歩を実施し、ＰＴ指導を５月、９月、１２月に３回実施した。介護機器の導入には至らなかった。
取組事項③		成年後見人制度活用の啓発
	目標項目	家族等への制度説明
	取組の実績	相談支援員と連携し、１件調整に着手した。

[華南園]

・施設入所支援（定員 50 人）
・生活介護（定員 50 人）
・短期入所（定員 4 人）

中期経営計画で目指すべき方向	利用者の日中活動を充実させるとともに、利用者の高齢化や多様な障害特性に対応できる専門性の高いサービスを充実します。
取組事項①	自己決定による外出支援の充実
目標項目	外出支援の実施
取組の実績	１人：２回／年（夢の日を含む）の外出を実施した。（計画：１人：２回／年）
取組事項②	利用者の機能低下や多様な障害特性に応じた専門的なケアによるサービス体制の確保・充実
目標項目	強度行動障害支援者養成研修の計画受講 認定特定行為業務従事者の一定数確保
取組の実績	強度行動障害支援者養成研修を３人受講した。（計画：１人） 認定特定行為業務従事者研修は受講しなかった。（計画どおり常時８人以上の確保ができたため）

[華の浦（はなのうらを含む）]

＜華の浦＞
・施設入所支援（定員 34 人）
・生活介護（定員 34 人）
・短期入所（定員 4 人）
・特定相談支援、障害児相談支援

＜はなのうら＞
・福祉型障害児入所（定員 16 人）
・短期入所（空床型）
・放課後等デイサービス（定員 10 人）

中期経営計画で目指すべき方向	利用者・児が主役になれるよう、毎日の暮らしを楽しいと感じる活動を提供するとともに、医療を必要とする利用者・児への専門性の高いサービスを提供します。
取組事項①	利用者・児の意思や要望を重視したサービスの提供
目標項目	意思決定支援会議の開催　　にじの会の開催 夢プラン（個別外出）の実施
取組の実績	・個別支援計画書に基づき利用者も参加し会議を２回開催した。（計画：月２回） ・にじの会を月１回開催（計画：月１回）し、利用児の意見や要望を傾聴して、月目標設定やルール作り、日中活動内容等に反映した。 ・夢プランを利用者の希望に沿い計画立案し、１人２回以上実施した。（計画：１人２回）
取組事項②	医療的ケア体制の充実
目標項目	認定特定行為業務従事者の一定数確保
取組の実績	対象となる適切な職員が不在、また対象利用者の体調不良により負担を懸念し受講しなかった。更に NS の指導者研修を申請したが、認定特定行為業務従事者研修の受講が条件のため受講できなかった。（計画：１人以上）

［このみ園］

・福祉型障害児入所（定員 40 人）
・短期入所（定員 5 人）
・放課後等デイサービス（定員 10 人）
・日中一時支援（定員 10 人）

中期経営計画で目指すべき方向	県内唯一の単独福祉型障害児入所施設として、多様なニーズを積極的に受け入れ、定員 40 人満床の継続を目指すとともに、令和 6 年度より施行される移行調整の新たな枠組みについて、関係機関と積極的に連携をとり、利用児の適切な移行につながる支援体制を確立します。
取組事項①	様々なニーズを持つ障害児の積極的受入れ
目標項目	定員 40 人満床の継続
取組の実績	関係機関との連携により、７名の入所があり、定員満床を継続できた。次年度以降も取り組みを進めていく。
取組事項②	円滑な移行調整に向けた支援体制の確立
目標項目	行政主導の新たな移行調整の枠組みへの積極的参加
取組の実績	県との情報共有並びに今後の方向性についての協議を２回行った。具体的な取り組みは次年度以降となるため、更に県との協議を進めていく。

＜児童心理治療施設＞

［山口県みほり学園 ］※県指定管理

・施設入所（定員 50 人）

中期経営計画で目指すべき方向	施設全体が「治療の場」となるよう、「総合環境療法」を実施し、児童の心のケアと社会適応能力の向上を図ることで、親子関係の再構築（家族再統合）を推進するとともに、施設機能を活かし地域のニーズにも対応します。
取組事項①	トラウマケアや発達障害等に係る知識や訓練技法を高めた専門的な支援による児童の社会適応能力の向上
目標項目	定期的な専門研修への参加 園内研修の充実 訓練の評価と展開
取組の実績	家族再統合　５人／年（計画２人）
取組事項②	退所後の生活に円滑に移行するための社会的自立に向けた支援
目標項目	マニュアルの整備と計画実施
取組の実績	計画実施に向けマニュアル整備を行った。
取組事項③	施設機能を活かした、地域ニーズへの対応
目標項目	外来相談の実施
取組の実績	１７件／年（計画：１０件）

＜児童厚生施設＞

［山口県児童センター］

・プラネタリウム
・大、小ホール
・遊戯室、図書室　等

中期経営計画で目指すべき方向	こどもの居場所（サードプレイス）として、全てのこどもが集えるよう、児童センター機能を充実します。
取組事項①	年齢層に応じたニーズ把握と行事の見直しによる利用促進
目標項目	年長児童の利用促進
取組の実績	夏休みの長期休業中に「簡単コース」と「難しいコース」の選択制で自由参加のクイズラリーを実施した際、小中学生の参加が多くあった。（全体の56%）
取組事項②	地域と共に進める子育て支援
目標項目	関係機関との連携及びボランティアの育成
取組の実績	山口大学天文学サークルは、星座解説とワークショップの行事を主体的に開催し、年２回の行事援助があった。他にも山口学芸大学生等の行事援助があり、延べ２７人の大学生ボランティアの参加があった。
取組事項③	児童厚生員の専門性の向上
目標項目	児童厚生員一級及び二級指導員資格の取得
取組の実績	地方分散型児童厚生員等基礎研修に４人受講（計画：４人）した。また、児童厚生二級指導員資格を１人が取得した。

＜その他＞

［ゆ～あいプラザ山口県社会福祉会館］

・福祉関係団体への事務室の提供
・会議室等の貸出

中期経営計画で目指すべき方向	会議室の利用ニーズに応じた利便性を高めることで、選ばれる施設づくりを目指します。
取組事項①	ホームページ及び会議室予約システムの再構築
目標項目	会議室利用回数の増
取組の実績	513回（計画：550回）
取組事項②	会議室のＷｅｂ環境の整備
目標項目	Ｗｅｂ環境の整備
取組の実績	導入に向けた検討に着手した。

地域とともに歩む施設づくり

1　地域社会への貢献

（1） 公益的な取組の実施

地域の福祉ニーズに応じた公益的な取組の実施

施設拠点	取組の実績
灘海園	・生活困窮者のための就労訓練事業について、岩国市社会福祉協議会との情報のやり取りは継続したものの、希望者がいなかった。 ・岩国市社会福祉法人地域公益活動推進協議会活動については、特に、市内のフードバンクに関する業務の協力をした。
伊保庄園	・柳井南小学校における人権教育講習会（高齢者理解と介護のあり方）に他施設職員４名とともに当園職員２名が参加し、小学生、地域住民を対象に講座を行った。 ・キャラバンメイトとして、認知症サポーター養成講座に年４回参加した。
オアシスはぎ園	・地域の学校からの出前講座依頼はなかったが、看護学校から依頼があった。（計画：各学校１回） ・はぎ園の昼食会に大井地区の住民計１５人（3回）の参加があり、はぎ園の魅力をＰＲできた。（計画：3回）
たちばな園	独居高齢者の配食サービス及び広報誌配布に併せた安否確認（月1回１０世帯）を行った。
華南園	・近隣の高齢者へ配食サービスを実施し、年間で延べ 116 食を配食した。（計画：156 食） ・在宅の生活介護利用者の入浴無料化について、対象となる利用者の実績がなく実施できなかった。（計画：月５人） ・民生委員・児童委員などを対象とした家庭介護講習会を４回開催し、在宅での援助に役に立てる情報を提供した。（計画：５回）
華の浦	・「防府市社会福祉法人地域公益活動推進協議会」に参加し、防府市社会福祉協議会や他社会福祉法人とパンフレットの作成に向けた内容確認を行った。 ・新田地区民生委員を対象とした介護教室を開催した。（2月）
このみ園	地域における障害児を持つ保護者を対象とした「このみ園発達支援セミナー」を3回（6月、１０月、2月）開催した。（計画：３回）
山口県 みほり学園	・退所児のアフターフォローを 17 件行った。 ・外来相談事業（県内在住の小中学生及びその保護者を対象に実施）４ケースを対象に面接や電話等延べ１７件対応した。
山口県 児童センター	・子育て中の方を対象とした保健師による育児相談事業を月３回実施（計画：月3回）し、178 件の相談があった。 ・栄養士による食育相談事業を毎月１回実施（計画：月1回）し、92 件の相談があった。

（2） セーフティネット機能の発揮

地域の緊急避難場所としての受け入れ体制の整備

具体的取組	関係機関との連携強化
取組の実績	各施設拠点とも随時連携に努めた。具体的な受入れ等はほぼなかったものの、児童相談所との連携により計１３人の児童を受け入れた。

具体的取組	受入体制及びマニュアル等の整備
取組の実績	多くの施設拠点で関係機関と連携し、受入体制の整備に向けた協議等を行った。

（3） 福祉人財の活用

職員が持つ技術や知識、経験等の地域への還元

具体的取組	福祉人財を活用した地域活動への参画
取組の実績	地域の講習会等へ講師としての派遣、イベントへの参加などすべての施設拠点で職員の知識等の地域への還元に努めた。

２　交流機会の確保

地域への施設機能の積極的な開放等

具体的取組	地域への施設の開放
取組の実績	機会は多くなかったものの、要望に応じ地域活動に対する施設や機器等の貸出を行った。

具体的取組	ボランティア団体等の受入れ
取組の実績	コロナの影響も徐々に薄れ、障害や児童関連施設を中心に多くのボランティアを受け入れた。（延べ 1,150 人）

具体的取組	地域活動への積極参加
取組の実績	回数は多くなかったものの各施設拠点において、地域の祭りやイベントに参加した。

Ⅲ　法人・事務局の取組

経営の基盤づくり

１　法人組織のガバナンス強化

規程等の整備や研修等の実施

具体的取組	経営会議の実施
取組の実績	部門別会議も含め７回実施した。（計画：６回）

具体的取組	コンプライアンス研修の実施
取組の実績	本部２回（計画：２回）、各施設拠点延べ 14 回（計画：延べ９回）実施した。

２　人財の確保・育成・定着

（１）人財の確保

ア　多様な人財の確保

具体的取組	各種教育機関等との連携強化、ＳＮＳ等を活用したＰＲ活動の推進、高齢者・障害者等の雇用促進、職員紹介制度の活用
取組の実績	各種学校等との連携、ホームページやインスタグラム、職員紹介制度やジョブリターン制度の活用など積極的に展開した。

イ　実習生やインターンシップの積極的な受入れ

具体的取組	各教育機関との連携強化
取組の実績	ほぼすべての施設拠点で積極的に実習生の受入れを行った。（延べ 508 人）

（２）人財の育成

ア　資格取得の促進

具体的取組	事業実施に必要な有資格者の継続確保
取組の実績	各施設拠点の有資格者の実態把握に努めるとともに、計画的に各種研修の受講を推進した。

具体的行動	資格取得助成制度の活用
取組の実績	助成制度申請者３人（うち合格者１人）

イ　体系的かつ専門的な研修機会の確保

具体的取組	階層別研修の実施
取組の実績	階層毎に各１回実施した。（計画：各１回）

具体的取組	特別研修の実施
取組の実績	未実施（２年に１回実施：次回Ｒ7年度）

具体的取組	セミナー研修の実施
取組の実績	11 月 26 日、ZOOM 配信にて発表し、多くの職員が視聴した。（発表施設：灘海園・たちばな園・このみ園）

具体的取組	出前研修の実施
取組の実績	虐待防止研修を８施設拠点で実施した。

具体的取組	外部研修への積極的な参加
取組の実績	全施設において積極的に参加した。（延べ274 人）

（３）人財の定着

ア　ハラスメントの防止及びメンタルヘルス対策の強化

具体的取組	ハラスメント研修の実施
取組の実績	本部１回（計画：１回）、各施設拠点延べ 11 回（計画：延べ９回以上）実施した。

具体的取組	全職員へのハラスメントに係る調査の実施と公表
取組の実績	計画どおり各 1 回実施し、内容等について各施設拠点を訪問し、調査結果について詳細な説明を行った。

具体的取組	相談窓口の設置整備と相談事業の実施
取組の実績	内部相談窓口及び外部相談窓口を設置し、相談しやすい体制で取り組んだ。

イ　ＩＣＴ機器や福祉機器等の導入等

具体的取組	ＩＣＴ機器や福祉機器等の導入による労務環境の改善
取組の実績	導入は無かったものの、「在り方検討委員会」において今後の導入に向けた検討を行った。

ウ　新人職員へのサポート体制の充実

具体的取組	訪問面談の実施
取組の実績	途中採用も含めた新人職員３３人に対し、延べ６６回実施した。（計画：１人３回以上）

エ　「小集団活動」の推進による職場環境の改善

具体的取組	小集団活動の推進
取組の実績	具体的な制度の周知には至らなかった。

３　安心安全な施設環境の整備に向けた財源の確保

（１）施設設備の整備

伊保庄園の移転改築の推進

具体的取組	改築等検討委員会及びワーキングチームの設置
取組の実績	事務的な問題等から協議が遅れ、委員会等の設置には至らなかった。

（２）収益の確保

施設整備等積立金の積立

具体的取組	稼働率の向上と加算の取得等による収益の確保
取組の実績	143,700 千円の積み立てを行った。（計画：130,000 千円以上）

（３）利用者の確保

各施設拠点における空床期間の短縮の取組及び稼働率の継続的な確保

具体的取組	関係機関との連携、在宅事業の受入れ、内部体制の強化
取組の実績	ほとんどの施設拠点で目標を下回った。（計画：95%以上）

（４）施設機能の維持

改修及び設備の更新

具体的取組	施設設備の更新計画の作成、更新
取組の実績	以下のとおり改修等を行った。 ・吸収冷温水機の操作基盤の改修（伊保庄園） ・管理棟トイレの改修（たちばな園） ・高圧電源ケーブルの更新（たちばな園） ・LED 改修（オアシスはぎ園＜管理棟＞・華南園＜居室・厨房エリア＞・このみ園＜居室＞） ・非常用発電機設備改修（オアシスはぎ園）

具体的取組	国、県の補助制度及び民間補助金の活用
取組の実績	活用可能な制度については適宜、活用を図った。（車両購入、施設改修）

◆　各施設拠点における事業ごとの稼働率等

施設拠点名	事業区分	実績（目標）	備　考
灘海園	介護老人福祉施設	75.1%（95%）	稼働率
	短期入所生活介護	84.5%（85%）	
	通所介護（地域密着）	75.4%（85%）	
	居宅介護支援	73.4 人（100 人）	月平均利用者数
伊保庄園	介護老人福祉施設	82.7%（95%）	稼働率
	短期入所生活介護	32.7%（40%）	
オアシス はぎ園	介護老人福祉施設	83.2%（96%）	稼働率
	短期入所生活介護	59.5%（65%）	
	通所介護	43.1%（61%）	
	グループホーム	95.6%（98%）	
	居宅介護支援	97.7 人（113 人）	月平均利用者数
たちばな園	施設入所支援	87.7%（95%）	稼働率
	生活介護	83.5%（95%）	
	短期入所（空床型）	14.5 人（13 人）	月平均利用者数
	相談支援	42.5 件（37 件）	月平均計画作成・モニタリング数
華南園	施設入所支援	91.5%（95%）	稼働率
	生活介護	90.6%（95%）	
	短期入所	0.8%（65%）	
華の浦 （はなのうら）	施設入所支援	96.7%（95%）	稼働率
	生活介護	100.4%（95%）	
	短期入所	31.3%（30%）	
	相談支援	40.8 件（36 件）	月平均計画作成・モニタリング数
	障害児施設入所	71.8%（95%）	稼働率
	放課後等デイサービス	93.9%（92%）	
このみ園	障害児施設入所	101.4%（95%）	稼働率
	短期入所	20.5%（12%）	
	放課後等デイサービス	102.5%（100%）	
山口県児童 センター	プラネタリウム	16,377 人（20,000 人）	年間利用者数